

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市立博物館協議会		
事務局 (担当課)		博物館 電話042-750-8030		
開催日時		令和4年2月8日(火) 午後1時30分～3時00分		
開催場所		相模原市立博物館 地階 大会議室		
出席者	委員	8人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	6人(博物館長、外5人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		1 あいさつ 2 委員自己紹介 3 会長及び副会長の選出 4 議 題 (1) 博物館協議会の概要及び今後の予定について (2) 相模原市立博物館活動評価書について (3) 博物館の活動予定について (4) その他		

議 事 の 要 旨

1 あいさつ

委嘱状交付後、佐々木館長よりあいさつを行った。

2 委員自己紹介

各委員の自己紹介及び事務局職員の自己紹介を行った。

3 会長及び副会長の選出

委員の互選により、会長に岩野委員（2期目）、副会長に吉川委員（2期目）が選出された。

4 議 題

（1）博物館協議会の概要及び今後の予定について

（2）相模原市立博物館活動評価書について

博物館協議会の概要及び今後の予定、また、相模原市立博物館活動評価書について、合わせて配布資料に基づき事務局より説明を行った。

なお、評価書の作成について、現行の「3年に1回」を、委員の任期に合わせて「2年に1回」にする提案を行った。

（篠田委員）委員の任期と評価の期間にずれがあるのであればやりやすい方法でやっていけばいいのではないか。

（岩野委員）なるべく委員の任期と評価の期間を合わせて、ずれないようにやっていく方が無理がなくていいと思う。

（藤田委員）任期と合わせたほうがわかりやすいので、そのような方向で検討していけばいいのではないか。

（事務局）既に評価をしている2期目の委員の意見をいただきたい。

（浜田委員）博物館ごとに評価の内容は違う。国立博物館は毎年分厚い評価を作っている。評価を作るのは職員の負担になる。2年にするのに異論はないが、職員の負担にならないか心配である。また、博物館法の登録制度が変わる予定である。現在の登録博物館は登録しなおす必要があり、審査も行われるようになる可能性がある。その移行措置期間は5年程度の予定であり、2年でも3年でも合わない。そういったことも踏まえて考えていくのがいいのではないか。任期の関係上、2年にするのはいいと思う。

（事務局）博物館法改正については、博物館業界でも話題になっている。いろいろな形の博物館がある中で、登録博物館である当館は、登録要件と合致した形で評価をしていきたい。評価書の作成については事務量の負担はあるが、3年ごとにやると任期と噛み合わないため、遑って説明する必要があるなど、評価書を作るのにロスも多い。フォーマットを作り、任期ごとに作成していく方が負担が減る可能性もあるのでその点も考慮いただきたい。

(3) 博物館の活動予定について

博物館の活動予定について、配布資料に基づき事務局より説明を行った。

(岩野委員) 企画展の欄の6月と12月に「はやぶさ」関係のイベントがあるが、6月はどのようなイベントを行うのか。企画案はあるのか。

(事務局) 「はやぶさWEEK」は、「はやぶさ」初号機のカプセルが帰還した日である「はやぶさの日」の6月13日の前後に「はやぶさ」に関するイベントを実施する。プラネタリウムの番組構成を「はやぶさ」・「はやぶさ2」に関する番組の構成にしたり、関係資料の展示などを予定している。「はやぶさの日」は、市内小学校で「はやぶさ給食」を出すなど、市内全体でも取り組んでいる。また、12月には「はやぶさ2」のカプセルが帰還した12月6日の前後に記念事業を予定している。昨年の12月6日から12日にはリュウグウサンプル公開を行った。その際JAXAの先生方にもたくさんご来館いただき、サインをいただいたので、そのサインなども展示することを考えている。

(藤本委員) 宇宙科学探査交流棟もあるが、市全体で盛り上げてくれるのはありがたい。JAXAだけでやっているわけではなく、市民に応援してもらい、協力していただいているのはありがたい。応援してもらうことは大事であり、博物館で事業をやると来場者も「頑張ろう」と思ってもらえると思うので、それもありがたい。

(山本委員) 事業計画(案)を見て、自分がポスターを作った学習資料展は大きなイベントだとわかった。今の企画展のチラシを平置きするだけでなく、「次の企画展はこれ」という掲示があれば見に来る人も増えるのではないか。次の企画展のポスターも一緒に掲示してはどうか。他に、事業計画(案)を見やすくしたものを掲示すれば「何月にこれがあるから行こう」と思ってもらえるのではないか。

(浜田委員) 事業計画(案)に異論はない。資料の作り方だが、博物館は「収集・保管」、「展示・教育」、「調査・研究」の3つの柱があり、今回作っていただいた教育普及事業計画(案)であると思われる「事業計画(案)」とは別に、今後は学芸員がどんな「収集・保管」、「調査・研究」をしているのかも一覧にしていきたい。

(4) その他

事務局の案内により、希望者のみ考古企画展「古代相模原台地の開発」の展示解説及び収蔵庫などの案内を行った。

(事務局) 次回は7月に開催予定である。

以上

相模原市立博物館協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	藤田 博己	市立大野台小学校校長		出席
2	五十里 雅子	県立相模原弥栄高等学校校長		欠席
3	大貫 英明	市文化財研究協議会副会長		欠席
4	篠田 春美	市P T A連絡協議会副会長		出席
5	吉川 恵美	市女性学習グループ連絡協議会代表	副会長	出席
6	岩野 秀俊	日本大学生物資源科学部前特任教授	会 長	出席
7	浜田 弘明	桜美林大学人文学系長・教授		出席
8	藤本 正樹	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所副所長・教授		出席
9	山本 幸奈	公募委員		出席
10	中里 真紀子	公募委員		出席